

一 般 質 問

Q 廃校校舎の利活用をどう考えているか

佐々木 鍛

一、現有の廃校校舎は寧楽、本郷、白谷の3つの小学校となっているが、今後の利活用をどう考えているか伺う。

二、エゾシカ食害対策として進めてきた電気牧柵は、町内農地面積の約89%が設置済みということであるが、駆除対策についてはハンターによる駆除が主な現状で、町内狩猟免許取得者の人数では十分とは言えない状況にあると思われる。そこで自主防衛的な手段として「くくり罠」の推奨並びに支援策を講じる考えはないか伺う。

A 地域との情報交換会などを通じ、今後どうあるべきか考えたい

町長 関 次 雄

一、廃校校舎の利活用は町のホームページで公募しているが、ほとんど問い合わせがない状況である。寧楽、白谷については町内会や産業団体などが一部利用しているが長期的な利活用の方針が確立されていないのが現状であり、地域との情報交換会などを通じ、意見をいただきたい中で考えていきたい。本郷についても、地域でまとまった考え方を提案いただければ、できる限り地域において活用できる環境づくりに努めて参りたい。

二、「くくり罠」については猟友会会員の中で現在3名が資格を取得し設置しているが、設置場所の選定など難しい面もあると聞いている。しかし、「くくり罠」は有効な手法であると考えており、猟友会会員のみならず、自主防衛的な観点からも生産者自ら「くくり罠」の資格を取得し、猟友会会員になつていただきエゾシカ駆除対策を促進して参りたい。

Q 鬼鹿小・中学校の改修、統廃合は

山内 裕

一、鬼鹿中学校の校舎耐震改修は終了したが、鬼鹿小・中学校体育館の耐震改修はまだ残っている。耐震診断調査の結果、危険度の低い校舎を先に改修し、なぜ危険度の高い体育館は後回しなのか伺う。

二、鬼鹿小・中学校ともに改修、改築の時期にきているが、現状の生徒数などを考慮すると統廃合も念頭に置き、改修、改築、統廃合の計画を示す必要があると思われるが、考えを伺う。

三、指定管理者は一期目から二期目の更新時期になるが、一期目の問題点、実績の評価はどのように行うのか伺う。

A 統廃合、改修は保護者や地域の意見を聞いて進めたい

町長 関 次 雄

一、耐震診断の結果、鬼鹿小学校屋体を平成24年度以降、中学校校舎屋体を平成25年度以降に計画していたが、早急に実現性の高い中学校校舎の耐震改修を優先的に実施した。

教育長 板垣 良二

二、10月に鬼鹿小・中学校の保護者、関係者に中学校の複式体制学校統廃合の方向性、教育環境の整備について懇談会を開催しており、その見解を聞いたうえで統廃合、改修の計画を早急に検討したい。

町長 関 次 雄

三、住民サービスの向上、住民ニーズへの効果的対応、行政コスト削減の3項目を検討項目として、各施設のこれまでの実績を検証し、受託者の評価を行いながら進めたい。